

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

【技術普及課からのお知らせ】

【施策情報】

☆鋼材によるため池堤体補強工法の設計手順や施工方法を解説したマニュアルを公開

☆ブロッコリーの大型花蕾生産技術で労働生産性の向上を実証

☆〈みどり戦略技術紹介〉 退緑黄化病抵抗性メロン「アールスアポロン」シリーズ（4品種）

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

◆「第13回農業普及活動高度化全国研究大会」の録画配信がYouTubeに公開されました！

全国農業改良普及職員協議会と（一社）全国農業改良普及支援協会が共催し、令和7年11月20日（木）に「第13回農業普及活動高度化全国研究大会」が開催されました。

大会では、9月に行われた「第13回農業普及活動高度化発表会」において全国48事例から選抜された8事例を発表して審査された結果、大臣賞1点、農産局長賞2点が決まりました。全国研究大会の様子は録画配信し、YouTubeで一般公開されています。

普及指導員の皆様におかれましては、下記 URL から御覧いただきますとともに、農業者や関係機関はじめ農業に係わる多くの方々に御紹介いただけますと幸いです。

▼大会結果（外部リンク）

<https://www.jadea.org/activities/conference/2025/>

▼YouTube（外部リンク）

<https://youtu.be/DswHlEvcEwM>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

（担当：渡邊、北川）（０３－６７４４－２１０７）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆第２回「田植え不要の米づくりコンソーシアム」を開催します！

【農村振興局 地域振興課】

=====

農林水産省は、我が国の主食である米を安定的に供給することが求められる中、省力化に資する田植え不要の米づくり（直播栽培）の取組を推進すべく、民間企業等の参画によるコンソーシアムを開催しています。

今回は、「乾田直播」及び「湛水直播」をテーマとして、実践農業者、地方公共団体等による取組事例の紹介やパネルディスカッションを行い、今後の直播栽培の推進に向けた検討を行います。

オンライン配信もございますので、普及指導員の皆様におかれましては、是非ご参加を検討いただくとともに、直播技術の幅広い周知に御協力いただきますようお願いいたします。

参加を希望される方は、次の申込フォームよりお申込み下さい。（外部リンク）

<https://business.form-mailer.jp/fms/e66bf47b319258>

日時：令和７年１２月１７日（水）１３時００分から１７時００分まで

場所：農林水産省７階講堂（オンライン）

登壇企業等：

（農業者）西部開発農産、そまやまビレッジ

（技術実証者）愛知県農業総合試験場、富山県広域普及指導センター、クボタ

（サービス事業体）オプティム、マイファーム

（流通）亀田製菓、ビビッドガーデン、雨風太陽

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/nousin/tauehuyou_cs.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 地域振興課

（担当：企画班、中山間対策班）（０３－３５０１－８３５９）

=====

◆「つながる特許庁 in 山口」（１２月１９日）を開催します！

【特許庁、農林水産省】

=====

特許庁では、ビジネスにおける知財の活用をサポートするイベント「つながる特許庁」を全国9都市で開催しております。

第6回目は山口県山口市において、特許庁と農林水産省が共催で、「農林水産業×知財×ビジネス～知的財産をいかして農林水産ビジネスを成功させるために～」をメインテーマに、地域資源をブランドに変える知財戦略について講演・解説します。

現地のイベントの様子は、全国にもYouTube Liveでオンライン配信しますので、開催地域以外の普及指導員の皆様におかれましてもぜひご視聴ください！

▼詳細はこちら（外部リンク）

<https://tsunagaru-tokkyocho.go.jp/yamaguchi.html>

日時：令和7年12月19日（金）13：00～18：00

場所：KDDI 維新ホール、オンライン（YouTube Live）

申込締切：令和7年12月17日（水）17：00 まで

参加費：無料

※お問い合わせ先

「令和7年度 つながる特許庁」運営事務局

（support@tsunagaru-tokkyocho.go.jp までお問合せください）

農林水産省 輸出・国際局 知的財産課

（担当：中西、岸）（03-6738-6442）

=====

◆地域特産物マイスター等を講師として派遣します！

【農産局 果樹・茶グループ】

=====

公益財団法人日本特産農産物協会は、地域特産作物（茶、伝統野菜、薬用作物等）の栽培・加工技術などについて、卓越した技術能力を有する「地域特産物マイスター（現在229名）」等を、農業者等が指導を受ける講習会や研修会に講師として招く場合に、謝金や旅費を支援する技術アドバイザー派遣事業を実施しています。

普及指導員の皆様におかれましては、本取組をご活用いただき、地域特産物の生産振興に役立てていただけますと幸いです。

なお、令和7年度の本取組の実施は2月中旬までとなっています。本取組を活用される場合は、1月中旬までに公益財団法人日本特産農産物協会に連絡し、事前相談の上、技術アドバイザー派遣の申請をしてください。

▼詳細はこちら

公益財団法人日本特産農産物協会ホームページ（外部リンク）

<http://www.jsapa.or.jp/mister/index.html>

※お問い合わせ先

公益財団法人日本特産農産物協会

(担当：寺田、吉川) (03-6689-9428)

農林水産省 農産局 果樹・茶グループ

(担当：小野澤) (03-6744-2512)

◆乾田直播栽培技術標準作業手順書 新たな地域版6編を公開

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

農研機構は、東北地方における水稻乾田直播栽培技術のさらなる普及を目的として、新たに乾田直播栽培技術標準作業手順書「宮城県石巻地域」、「宮城県大崎地域」、「宮城県美里・涌谷・大崎(鹿島台・松山・田尻等)地域」、「岩手県花北・奥州地域」、「秋田県大潟村」、「山形県庄内地域」をウェブサイトで公開しました。これらは、各地域に特有の気象・土壌条件や経営体が保有する機械に合わせて水稻乾田直播栽培技術をまとめたものです。

岩手県、宮城県、秋田県及び山形県の普及指導員の皆様におかれましては、乾田直播の推進にあたっては、本手順書の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力いただけますと幸いです。

▼詳細はこちら (外部リンク)

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/tarc/171169.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム (外部リンク)

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当：吉田、佐藤、高橋) (03-3502-7407)

◆鋼材によるため池堤体補強工法の設計手順や施工方法を解説したマニュアルを公開

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

農研機構は、高知大学、日本製鉄株式会社および株式会社エイト日本技術開発との共同研究の成果をとりまとめ、「鋼材によるため池堤体補強工法設計・施工マニュアル」を2025年11月14日ウェブサイトで公開しました。

このマニュアルは、鋼矢板や鋼管をため池の堤体内に打設して堤体の遮水性能や耐震性能を向上させる工法について、設計手順および施工方法を一般化しています。

このマニュアルを使用することで、効率的に「鋼矢板二重式工法」の設計・施工が可能となります。

普及指導員の皆様におかれましては、ため池堤体の防災工事の計画や指導にあたり、現場での検討材料として本マニュアルをご参照ください。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nire/172405.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（０３－３５０２－７４０７）

=====

◆ブロッコリーの大型花蕾生産技術で労働生産性の向上を実証

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農研機構は、加工・業務用ブロッコリーの「大型花蕾生産技術」に適した品種を作型別に選定し、関東以西の主な産地 7 県において栽培試験を行いました。その結果、全国平均の約 3 倍の収量が得られることを確認しました。さらに、ほ場内の収穫可能な全てのブロッコリーを一斉に収穫することで、総労働時間を半減できることも明らかにしました。

また、本技術の作業手順をまとめた「ブロッコリー大型花蕾生産技術標準作業手順書(SOP)」を公開しました。本技術を全国に普及することにより、輸入品に依存している加工・業務用ブロッコリーの国産化が進み、国内農業の振興と食料自給率の向上に貢献することが期待されます。

普及指導員の皆様におかれましては、本手順書の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力いただけますと幸いです。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/172472.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（０３－３５０２－７４０７）

=====

◆〈みどり戦略技術紹介〉 退緑黄化病抵抗性メロン「アールスアポロン」シリーズ（４品種）

【大臣官房政策課 技術政策室】

=====

メロン産地では近年、退緑黄化病が発生し大きな問題となっています。この度、退緑黄化病に抵抗性があり、果肉が緑色で、果皮にネットがあるアールス系メロ

ン「アールスアポロン」シリーズ（4品種）が開発されました。4つの品種でさまざまな作型・収穫時期に対応できます。

また退緑黄化病に感染しても果実重や糖度が低下しにくく、被害の軽減が期待されます。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版:露地野菜)(PDF:7,798KB)

p. 26

退緑黄化病抵抗性メロン「アールスアポロン」シリーズ4品種

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/03_midori_catalog5_vege.pdf#page=26

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室

(担当：中野、小松崎) (0 3 - 3 5 0 2 - 3 1 6 2)

※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。